

2019年11月13日

各位

会社名 株式会社 イグニス  
代表者名 代表取締役社長 銭 鋺  
(コード番号: 3689 東証マザーズ)  
問合せ先 執行役員 CFO 松本 智仁  
(TEL. 03-6408-6820)

## 連結業績における特別損失、単体業績における貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）及び特別損失の計上並びに通期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2019年9月期（2018年10月1日～2019年9月30日）の連結財務諸表において特別損失を、財務諸表において貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）及び特別損失を下記のとおり計上いたしましたのでお知らせいたします。

また、2019年9月17日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」においてお知らせいたしました通期連結業績予想につきまして、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績における特別損失の計上について

当社が保有する投資有価証券について、取得価額に比べて実質価額が著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損37百万円及び関係会社株式評価損52百万円を特別損失として計上いたしました。

また、当社が保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に従い将来の回収可能性を検討した結果、減損処理を実施したことにともない、減損損失52百万円を特別損失として計上いたしました。

#### 2. 単体業績における貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）及び特別損失の計上について

上記「1. 連結業績における特別損失の計上について」のとおり、財務諸表においても投資有価証券評価損37百万円、関係会社株式評価損52百万円を含む関係会社株式評価損229百万円及び減損損失52百万円を特別損失として計上いたしました。

また、関係会社（連結子会社8社及び関連会社1社）の財政状態の悪化にともない、回収が懸念される債権について貸倒引当金を計上いたしました。その結果、関係会社貸倒引当金繰入額97百万円を販売費及び一般管理費として計上するとともに、関係会社貸倒引当金繰入額1,833百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、持分法を適用していない非連結子会社に対する関係会社株式評価損52百万円以外は、連結財務諸表において消去しているため、連結業績への影響はありません。

3. 2019年9月期（2018年10月1日～2019年9月30日）通期連結業績予想値と実績値との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,500	百万円 △700	百万円 △800	百万円 △355	円 銭 △24.22
実績値（B）	5,571	△744	△867	△631	△44.05
増減額（B－A）	71	△44	△67	△276	
増減率（％）	1.3	-	-	-	
（ご参考）前期実績 （2018年9月期）	4,874	△2,532	△2,571	△2,651	△197.25

（差異の理由）

売上高につきましては、主に既存ジャンルであるコミュニティの「with」の伸長による増加があり、2019年9月17日に公表した通期連結業績予想値より1.3%増の5,571百万円となりました。

一方で利益につきましては、注力事業であるVR分野に対する先行投資により、研究開発費10百万円が増加したこと等のため、営業損失は744百万円、経常損失は867百万円となりました。また、上記「1. 連結業績における特別損失の計上について」のとおり、投資有価証券評価損37百万円、関係会社株式評価損52百万円及び減損損失52百万円等を特別損失して計上したこと、連結納税対象の関係会社の業績好調等にともない法人税、住民税及び事業税が59百万円増加したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は631百万円となりました。

以上